

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2005-339560(P2005-339560A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2005-155753(P2005-155753)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月23日(2008.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザにヘルプ情報を提示する方法であって、
主要アプリケーションによって生成された、少なくとも 1 つの関連付けられたユーザインターフェース機能を含むアプリケーションインタフェースを提供するステップと、
前記アプリケーションインタフェースに関連付けられた前記 1 つのユーザインターフェース機能の上に実質的に重なるシースルーパネルからなるヘルプ選択機構を提供するステップであって、前記ユーザが下にある前記 1 つのユーザインターフェースに関するヘルプ情報を要求することができることと、
前記 1 つのユーザインタフェース機能が前記シースルーパネルによって実質的にオーバーレイされている間に、前記ヘルプ選択機構を介して前記ユーザから前記下にある 1 つのユーザインタフェースに関するヘルプ要求を受け取るステップであって、前記ヘルプ要求は前記下にある 1 つのユーザインタフェース機能が前記シースルーパネル上で識別された後にユーザによって提出されることと、
前記受け取られたヘルプ要求に応答して、前記ヘルプ選択機構によって提供された前記シースルーパネル上において前記ユーザに視覚的ヘルプ情報を提示するステップであって、前記 1 つのユーザインタフェース機能が前記シースルーパネルによって実質的に重なったままである間に、前記ユーザが前記主要アプリケーションと関連付けられた前記下にある 1 つのユーザインタフェース機能との対話ができることと
を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記方法は、携帯電話デバイス、携帯情報端末デバイス、ラップトップコンピュータデバイス、タブレット型入力装置または着用型コンピュータデバイスの少なくとも 1 つを使用して実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記方法は、コンピュータワークステーションを使用して実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ユーザから前記ヘルプ要求を受け取る前記ステップは、前記ユーザが、前記ヘルプ選択機構の上で、前記少なくとも 1 つのユーザインターフェース機能の近くにマーカーを置

いたことを示す情報を受け取るステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ユーザから前記ヘルプ要求を受け取る前記ステップは、前記ユーザが、マーク付け機構を使用して、前記ヘルプ選択機構の上において、前記 1 つのユーザインターフェース機能の近くにマークを作成したこと示す情報を受け取るステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ユーザのヘルプ要求を受け取るのに応答して、前記ユーザにどのヘルプ情報を示すかを決定するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ユーザに提示するヘルプ情報を決定する前記ステップは、前記ユーザから受け取られた前記ヘルプ要求を、前記関連付けられたヘルプ情報に自動的に対応付けるステップを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ユーザに提示するヘルプ情報を決定する前記ステップは、人間のアシスタントにより、前記ユーザのヘルプ要求に基づいて、前記ユーザに伝達する前記ヘルプ情報を手動で判定するステップを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ステップは、前記ユーザに音声のヘルプ情報を提示するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ステップは、前記ユーザが以前に前記アプリケーションインタフェースと対話する際に行った一連の動作から決定される、前記ユーザの前記アプリケーションインタフェースとの対話の状況に基づいて、ヘルプ情報を提示するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ステップは、前記ユーザが前記方法を実行するコンピュータデバイスに対してローカルなソースから前記ヘルプ情報を配信するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ステップは、前記ユーザが前記方法を実行するコンピュータデバイスに対してリモートのソースから前記ヘルプ情報を配信するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の前記アプリケーションインタフェースを提供するステップ、前記ヘルプ選択機構を提供するステップ、前記ヘルプ要求を受け取るステップならびに前記ヘルプ情報を提示するステップそれぞれを実施するコンピュータ可読命令を含むことを特徴とするコンピュータ読取り可能媒体。

【請求項 14】

ユーザにヘルプ情報を提示する装置であって、
表示装置と、
主要アプリケーションによって生成された、少なくとも 1 つの関連付けられたユーザインターフェース機能を含むアプリケーションインタフェースを前記表示装置上に提供するように構成されたロジック実行手段と、

前記アプリケーションインタフェースに重なるヘルプ選択機構を提供するように構成されたロジック実行手段であって、前記ヘルプ選択機構は、前記ユーザに下にある前記 1 つのユーザインターフェースに関するヘルプ情報を要求することを可能とし、前記アプリケーションインタフェースに関連付けられた前記 1 つのユーザインターフェース機能の上に実質的に重なるシースルーパネルからなることと、

前記 1 つのユーザインターフェース機能が前記シースルーパネルによってオーバーレイさ

れている間に、前記ヘルプ選択機構を介して前記ユーザから前記下にある１つのユーザインタフェースに関するヘルプ要求を受け取るように構成されたロジック実行手段であって、前記下にある１つのユーザインタフェース機能が前記ヘルプ選択機構によって提供された前記シースルーパネル上で識別された後に、前記要求がユーザによって提出されることと、

前記受け取られたヘルプ要求に応答して、前記ヘルプ選択機構によって提供された前記シースルーパネル上において前記ユーザに視覚的ヘルプ情報を提示するように構成されたロジック実行手段であって、前記１つのユーザインタフェース機能が前記シースルーパネルによって実質的に重なったままである間に、前記ユーザが前記主要アプリケーションと関連付けられた前記下にある１つのユーザインタフェース機能との対話ができることとを備えたことを特徴とする装置。

【請求項１５】

前記装置は、携帯電話デバイス、携帯情報端末デバイス、ラップトップコンピュータデバイス、タブレット型入力装置または着用型コンピュータデバイスの少なくとも１つであることを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項１６】

前記装置はコンピュータワークステーションであることを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項１７】

前記ヘルプ選択機構は、その上に移動可能なマーカーを提供するように構成され、前記ヘルプ要求を受け取る前記ロジック実行手段は、前記ユーザが前記１つのユーザインタフェース機能の近くに前記マーカーを置いたことを示す情報を受け取るように構成されたことを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項１８】

前記ヘルプ選択機構は、マーク付け機構によって付けられたマークを受け取るように構成され、前記ヘルプ要求を受け取る前記ロジック実行手段は、前記ユーザが前記マーク付け機構を使用して前記ヘルプ選択機構の上の前記１つのユーザインタフェース機能の近くにマークを作成したことを示す情報を受け取るように構成されたことを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項１９】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ロジック実行手段は、前記ユーザに音声のヘルプ情報を提示するように構成されたことを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項２０】

前記ユーザに視覚的ヘルプ情報を提示する前記ロジック実行手段は、前記ユーザが以前に前記アプリケーションインタフェースと対話する際に行った一連の動作から決定される、前記ユーザの前記アプリケーションインタフェースとの対話の状況に基づいて、ヘルプ情報を提示するように構成されたことを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項２１】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ロジック実行手段は、前記装置に対してローカルなソースから配信された前記ヘルプ情報を受け取るように構成されたことを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項２２】

前記ユーザに前記ヘルプ情報を提示する前記ロジック実行手段は、前記装置に対してリモートにあるソースから配信された前記ヘルプ情報を受け取るように構成されたことを特徴とする請求項１４に記載の装置。

【請求項２３】

請求項１４に記載の前記各ロジック実行手段の動作を実行するコンピュータ可読命令を含むことを特徴とするコンピュータ読取り可能媒体。

【請求項２４】

ユーザにヘルプ情報を提示するシステムであって、

前記ユーザにヘルプ情報を供給するように構成された支援センターと、
結合機構と、
前記結合機構を介して前記支援センターに結合された少なくとも１つの装置と
を備え、

前記少なくとも１つの装置は、
表示装置と、
主要アプリケーションによって生成された、少なくとも１つの関連付けられたユーザ
インターフェース機能を含むアプリケーションインタフェースを前記表示装置上に提供す
るように構成されたロジック実行手段と、

前記アプリケーションインタフェースに重なるヘルプ選択機構を提供するように構成
されたロジック実行手段であって、前記ヘルプ選択機構は、前記ユーザに下にある前記１
つのユーザインターフェースに関するヘルプ情報を要求することを可能とし、前記アプリ
ケーションインタフェースに関連付けられた前記１つのユーザインターフェース機能の上
に実質的に重なるシースルーパネルからなることと、

前記１つのユーザインタフェース機能が前記シースルーパネルによってオーバーレイ
されている間に、前記ヘルプ選択機構を介して前記ユーザから前記下にある１つのユーザ
インタフェースに関するヘルプ要求を受け取るように構成されたロジック実行手段であっ
て、前記下にある１つのユーザインタフェース機能が前記ヘルプ選択機構によって提供さ
れた前記シースルーパネル上で識別された後に、前記要求がユーザによって提出されるこ
とと、

前記受け取られたヘルプ要求に応答して、前記支援センタから前記ヘルプ情報を受け
取るように構成されたロジック実行手段と、

前記受け取られたヘルプ要求に応答して、前記ヘルプ選択機構によって提供された前
記シ-スルーパネル上において前記ユーザに視覚的ヘルプ情報を提示するように構成され
たロジック実行手段であって、前記１つのユーザインタフェース機能が前記シースルーパ
ネルによって実質的に重なったままである間に、前記ユーザが前記主要アプリケーション
と関連付けられた前記下にある１つのユーザインタフェース機能との対話ができることと
を含むことを特徴とするシステム。